



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月7日

上場会社名 株式会社SRAホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3817 URL https://www.sra-hd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鹿島 亨
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部財務部長 (氏名) 小林 俊昭 TEL 03-5979-2666
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	29,831	2.0	2,739	△0.7	3,074	10.9	1,505	115.7
30年3月期第3四半期	29,241	3.4	2,759	△2.2	2,772	△10.6	697	△64.6

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 882百万円 (△34.2%) 30年3月期第3四半期 1,340百万円 (66.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	122.09	—
30年3月期第3四半期	56.96	56.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	35,561	20,988	59.0
30年3月期	37,756	21,438	56.6

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 20,972百万円 30年3月期 21,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	40.00	—	70.00	110.00
31年3月期	—	40.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	65.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成30年3月期年間配当金は110円（普通配当100円、創業50周年記念配当10円（期末配当に含む））となります。

平成31年3月期年間配当金は105円（普通配当105円）となります。

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	1.5	4,400	5.4	4,400	△7.6	2,800	35.9	227.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	15,240,000株	30年3月期	15,240,000株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	2,903,218株	30年3月期	2,935,755株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	12,327,534株	30年3月期3Q	12,247,095株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ

「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・決算補足説明資料は、当社ホームページに速やかに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成30年4月1日から平成30年12月31日まで)におけるわが国経済は、設備投資が増加し、企業収益も改善するなか、緩やかな回復基調が続きました。情報サービス産業におきましても、IT投資は大企業、中堅企業を中心に増加しましたが、競争激化による厳しい受注環境は依然として続きました。

このような事業環境のもと、当社グループは、企業価値ならびに株主価値の向上をめざし、収益構造の改革を推進して高収益モデルを確立するとともに、株主還元のさらなる充実を図るため、中期経営計画に基づき、以下の重点施策に取り組んでおります。

①既存事業の収益性向上

・売上総利益率のさらなる向上

プロジェクト管理の充実・強化による採算性向上、生産間接費の継続的削減、自社IP製品ビジネスへの取り組み、生産要員規模の適正化を推進しております。

・販管費率の改善

アカウントマネージャー制の導入により、営業効率の向上を図るとともに、本社のスタッフ部門とシェアードサービスを担当する株式会社SRAプロフェッショナルサービスの運営コストの削減を進めております。

・受注・売上拡大

既存顧客の深耕による顧客内シェア向上ならびに成長分野における新規顧客の獲得に注力し、受注・売上拡大に努めております。

②ビジネスモデルの変革

「自社IP製品ビジネス+既存事業の高付加価値化」の推進を図るとともに、IoT、モバイル、セキュリティ、クラウドコンピューティング、ビッグデータ、ソーシャル・ネットワーキング技術等の成長分野において、自社IP製品および新サービスの提供を推進しております。

③「自社IP製品ビジネス×海外ビジネス」の強化

成長分野に向けた自社IP製品の拡充をめざすとともに、成長市場である海外をターゲットとしたビジネスを推進しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、次のとおりとなりました。

売上高は、開発事業、運用・構築事業、販売事業のすべての事業が増加した結果、29,831百万円(前年同期比2.0%増)となりました。

損益面については、利益率向上施策等に注力した結果、売上総利益は増益となりました。しかし、当第3四半期連結会計期間から新たに連結子会社として業績に組み入れた海外子会社の販売費等の影響もあり、販売管理費が前年同期比で増加し、営業利益は2,739百万円(前年同期比0.7%減)となりました。経常利益は3,074百万円(前年同期比10.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,505百万円(前年同期比115.7%増)といずれも増益となりました。

当第3四半期連結累計期間の事業別の営業の状況は以下のとおりです。

●開発事業

開発事業は、製造業、金融向けが増加した結果、当事業の売上高は15,880百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

●運用・構築事業

運用・構築事業は、企業向けおよび大学向けが増加した結果、当事業の売上高は3,569百万円(前年同期比3.8%増)となりました。

●販売事業

販売事業は、株式会社SRAの機器販売等が減少し、株式会社AITの機器販売が増加した結果、当事業の売上高は10,380百万円(前年同期比0.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間における資産合計は35,561百万円(前連結会計年度末比5.8%減)、負債合計は14,573百万円(同10.7%減)、純資産合計は20,988百万円(同2.1%減)となりました。前連結会計年度末と比べ増減した主な内容は、次のとおりです。

(資産合計)

短期貸付金が2,264百万円増加し2,680百万円、株式の取得等により投資有価証券が1,610百万円増加し10,964百万円となりました。一方、長期貸付金が1,878百万円減少し1,301百万円となりました。

(負債合計)

前受金が623百万円増加し3,532百万円となりました。一方、訴訟損失引当金が1,198百万円減少、銀行借入の返済により短期借入金が609百万円減少し570百万円、法人税等の支払により未払法人税等が490百万円減少し245百万円となりました。

(純資産合計)

利益剰余金が150百万円増加し17,515百万円となりました。一方、有価証券および投資有価証券の時価変動によりその他有価証券評価差額金が457百万円減少し196百万円、為替相場の変動により為替換算調整勘定が163百万円減少し282百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月10日に公表いたしました「平成30年3月期決算短信」の連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,629	4,100
受取手形及び売掛金	6,932	6,178
有価証券	108	45
商品及び製品	647	881
仕掛品	1,566	1,540
短期貸付金	416	2,680
未収入金	2,874	2,785
その他	1,922	848
貸倒引当金	△37	△19
流動資産合計	22,061	19,042
固定資産		
有形固定資産		
建物	376	391
減価償却累計額	△268	△284
建物(純額)	107	106
機械装置及び運搬具	530	547
減価償却累計額	△491	△505
機械装置及び運搬具(純額)	39	41
その他	136	162
減価償却累計額	△91	△103
その他(純額)	45	58
有形固定資産合計	192	207
無形固定資産		
その他	1,310	1,603
無形固定資産合計	1,310	1,603
投資その他の資産		
投資有価証券	9,353	10,964
長期貸付金	3,179	1,301
繰延税金資産	2,211	1,812
差入保証金	384	385
退職給付に係る資産	46	49
その他	555	222
貸倒引当金	△1,519	△9
投資損失引当金	△19	△17
投資その他の資産合計	14,191	14,708
固定資産合計	15,695	16,519
資産合計	37,756	35,561

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,871	3,219
短期借入金	1,179	570
未払費用	859	713
未払法人税等	735	245
未払消費税等	506	423
前受金	2,908	3,532
賞与引当金	565	542
役員賞与引当金	49	134
工事損失引当金	780	334
訴訟損失引当金	1,198	—
その他	294	417
流動負債合計	11,949	10,132
固定負債		
繰延税金負債	68	79
退職給付に係る負債	4,134	4,171
役員退職慰労引当金	165	174
その他	—	15
固定負債合計	4,368	4,441
負債合計	16,317	14,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,671	4,701
利益剰余金	17,364	17,515
自己株式	△2,437	△2,402
株主資本合計	20,598	20,814
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	654	196
為替換算調整勘定	445	282
退職給付に係る調整累計額	△319	△321
その他の包括利益累計額合計	780	158
新株予約権	59	15
純資産合計	21,438	20,988
負債純資産合計	37,756	35,561

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	29,241	29,831
売上原価	23,070	23,261
売上総利益	6,171	6,569
販売費及び一般管理費	3,411	3,830
営業利益	2,759	2,739
営業外収益		
受取利息	61	105
受取配当金	63	45
為替差益	86	194
その他	40	49
営業外収益合計	252	394
営業外費用		
支払利息	30	31
証券代行事務手数料	14	13
持分法による投資損失	185	—
その他	9	14
営業外費用合計	239	58
経常利益	2,772	3,074
特別利益		
投資有価証券売却益	245	13
新株予約権戻入益	1	54
その他	2	16
特別利益合計	248	84
特別損失		
固定資産除却損	0	2
貸倒引当金繰入額	—	254
訴訟関連損失	1,612	17
その他	18	6
特別損失合計	1,631	280
税金等調整前四半期純利益	1,389	2,878
法人税、住民税及び事業税	1,044	762
法人税等調整額	△353	610
法人税等合計	691	1,373
四半期純利益	697	1,505
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	697	1,505

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	697	1,505
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	621	△457
為替換算調整勘定	△33	△165
退職給付に係る調整額	7	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	48	2
その他の包括利益合計	642	△622
四半期包括利益	1,340	882
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,340	882
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の移動には該当していませんが、第2四半期連結会計期間において、出資持分の追加取得により子会社となったProxim Wireless Corporationを連結の範囲に含めております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	15,502	3,440	10,298	29,241	—	29,241
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	151	285	454	△454	—
計	15,520	3,591	10,583	29,696	△454	29,241
セグメント利益	2,406	860	668	3,934	△1,175	2,759

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,175百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	15,880	3,569	10,380	29,831	—	29,831
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	162	193	365	△365	—
計	15,890	3,732	10,573	30,196	△365	29,831
セグメント利益	2,709	894	299	3,903	△1,164	2,739

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,164百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)	前年同四半期比 (%)
開発事業 (百万円)	15,888	97.8
運用・構築事業 (百万円)	3,641	104.7
合計 (百万円)	19,530	99.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

②仕入実績

当第3四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)	前年同四半期比 (%)
販売事業 (百万円)	6,096	103.5
合計 (百万円)	6,096	103.5

- (注) 1. 金額は仕入価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

③受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
開発事業	15,922	98.8	4,860	93.2
運用・構築事業	2,803	103.7	1,423	111.5
販売事業	10,180	101.7	3,388	116.6
合計	28,905	100.3	9,672	102.9

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

④販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	前年同四半期比(%)
開発事業(百万円)	15,880	102.4
運用・構築事業(百万円)	3,569	103.8
販売事業(百万円)	10,380	100.8
合計(百万円)	29,831	102.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

以上